

# 岡山の公民館

No. 64

令和6年3月 編集発行 岡山県公民館連合会

〒700-0016 岡山市北区伊島町3-1-1 岡山県生涯学習センター内

電話 086-251-9751 FAX 086-251-9757

ホームページ【<https://www.pal.pref.okayama.jp/kenkouren/>】



## 令和5年度 主な行事予定

- 令和5年度岡山県公民館連合会総会・研修会  
期 日：令和5年5月23日(火)  
場 所：岡山県生涯学習センター 大研修室 他
- 第45回全国公民館研究集会広島県大会 兼  
第45回中国・四国地区公民館研究集会広島大会  
期 日：令和5年10月12日(木)、13日(金)  
場 所：広島国際会議場

## 備前ブロック



玉野市立八浜公民館 「玉野光南高校へ行こう」

## 備中ブロック



新見市正田公民館 「ENJOY合宿」

## 美作ブロック



美咲町教育委員会生涯学習課 「オリジナル傘作り」

## Index

各ブロックから・主な行事予定	1
挨拶・令和5年度表彰	2
令和5年度岡山県公民館連合会事業	3
第7回公民館職員が選ぶ!講座アワード	4、5
市町村出前講座事業・第35回全国公民館セミナー 「第46回全国公民館研究集会香川県大会 兼 第46回中国・四国地区公民館研究集会香川大会」のお知らせ	6
公民館 ひと・ひと・グループ	7
まちから むらから フォトレター	8

## 公民館記章



このシンボルマークは、  
公民館の「公」の字を圖案  
化し、しかも、全体の形を  
「館」になぞらえたものである。  
昭和53年 4月1日 制定  
昭和35年10月1日 遡及適用

## 「ウェルビーイングの向上を目指して」

岡山県公民館連合会副会長(岡山県教育庁生涯学習課長) 滝澤 幸隆



令和元年度末以降、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けていた私たちの生活も、5類感染症移行に伴い、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつあるように見えます。しかし、一方で、急激な社会の変化は、孤独・孤立の問題の顕在化や体験活動の機会の減少、デジタルデバイドなどの新たな社会課題、地域課題を生み出しました。

そのような中、令和5年6月に閣議決定された国の「教育振興基本計画」では、基本コンセプトの一つとして、「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が掲げられています。「ウェルビーイング」とは、身体的・精神的・社会的に良い状態で、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念で、その向上のためには、一人ひとりの自己実現や自己肯定感の獲得に加えて、地域における学びを通じて人々とのつながりやかかわりを作り出すことが必要であるとされています。

このように、学びを通じて「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環を生むという従来から社会教育が担ってきた機能は、さらに重要視される状況にあります。その社会教育の拠点が公民館であり、鍵を握っているのが公民館職員の皆様方です。

社会的包摂の実現や地域コミュニティづくり、地域課題の解決、施設を活用した子どもの居場所づくり、住民相互の学び合い・交流の促進、他の社会教育施設や民間企業等との連携の促進、デジタルデバイド解消など、求められている役割は大きなものですが、公民館は地域住民とともに、地域のために、どのような地域を目指すかを真剣に考えることのできる、素晴らしい学びの場です。

どうか、今後とも、岡山県の発展のために、地方創生を支える地域の学びの拠点として、誇りをもって、生涯学習・社会教育の推進にあたっていただきますよう、よろしく願い申し上げます。

## 輝く令和5年度 受賞

### 文部科学大臣表彰 優良公民館

#### ○瀬戸内市長船町公民館

長船町公民館では、保護者同士のつながりや、地域と保護者とのつながりをつくる公民館主催講座「うさぎの学校」を月に1回(年8回)開催している。この取組は、今年で27年目を迎え、参加した指導者が次の指導者となり活躍するなど、学びの循環が生まれている。また、活動の中心になっていた保護者のグループは現在、NPO法人を設立し、市内の保育園、幼稚園、小学校などで、「おはなし会」等を行うなど活動範囲を広げ、市内全体の子育て・家庭教育支援の充実につながっている。

これからも「うさぎの学校」は、未就園児を対象として実施していき、保護者、子どもを支援する講座の拡充や支援体制の強化を図っていく。また、公民館のコーディネート機能を活かし、主催講座「うさぎの学校」をコラボレーションすることで、地域文化に触れる機会を提供し、子育て世代と地域住民が交流を深め、地域ぐるみで子育て支援するしくみや地域力の向上に大きく貢献している。

#### ○奈義町公民館

奈義町公民館では、町の唯一の公民館として、長年にわたり高齢者から青少年のニーズに合わせた生涯学習教室を開講している。また、国際理解などをはじめとする人権教育や町全体で取り組むコミュニティ活性化事業などに取り組んでいる。

地域の特色ある取組みとして、江戸時代から地域に伝わる伝統芸能「横仙歌舞伎(よこぜんかぶき)」の後継者育成を目的に「こども歌舞伎教室」を平成8年に開講。以来、地元、横仙歌舞伎保存会による指導により、後継者育成だけを目的とするのではなく、異年齢交流を通じた人と人とのつながりによって、自分たちの町を知ることで郷土愛を育む取組を併せて行っている。この長期間にわたる活動が実り、現在では「こども歌舞伎教室」のOB、OG達が次の世代にとって代わり、町の伝統芸能を守り続けている。

最近では、新たな世代を公民館活動に取り込むために開講した、サブカルチャー教室「プロに学ぶプラモデル教室」が、世代を越えた人気の教室となっている。

### 全国公民館連合会表彰(4名)

【優良職員表彰】	高月 憲二郎(矢掛町中川公民館 前館長)	
【永年勤続職員表彰】	大生 小百合(岡山市立瀬戸公民館 公民館主事)	小出 美幸(岡山市立西大寺公民館 公民館主事)
	楨野 優美子(早島町中央公民館 一般事務補助員)	

### 岡山県公民館連合会表彰(13名)

【優良職員表彰】	土居 義明(岡山市立岡南公民館 公民館主事)	岡田 真由子(倉敷市倉敷公民館 主任)
	西内 夏生(前倉敷市教育委員会市民学習センター 主事)	山本 憲郎(笠岡市笠岡公民館 館長)
	高田 正宏(笠岡市城見公民館 館長)	中尾 重規(笠岡市六島公民館 館長)
	櫻井 千奈美(笠岡市大島公民館 主事)	山本 隆政(総社市西公民館 館長)
	神崎 敏光(総社市西公民館新本分館 分館長)	樋口 長郎(総社市昭和公民館日美分館 分館長)
	楨野 優美子(早島町中央公民館 一般事務補助員)	福田 和恵(吉備中央町納地公民館 主事)

【感謝状】	小見山 晃(岡山県公民館連合会 前副会長)	(敬称略・順不同)
-------	-----------------------	-----------

# 令和5年度 岡山県公民館連合会事業

## 理事会・総会・第1回研修会

開催日 令和5年5月23日(火) 場所 岡山県生涯学習センター

【理事会・総会】○令和4年度事業報告・決算報告及び監査報告  
○令和5年度事業計画(案)及び予算(案) 他

【内 容】○講義 「社会教育と生涯学習～公民館の果たす役割～」  
講師 桜美林大学大学院国際学術研究科 教授 小山 竜司 氏  
○情報交換

社会教育や公民館の果たす役割について、その重要性やこれからの公民館のあり方について御教示いただきました。



## 第2回研修会

【西会場】開催日 令和5年6月27日(火) 場所 総社市山手公民館

【東会場】開催日 令和5年6月28日(水) 場所 備前市立中央公民館

【内 容】○講義 「実践から学ぶ みんな笑顔のまちづくり！」  
講師 浜松市富塚協働センター 主任 コミュニティ担当 野嶋 京登 氏

○実践発表

発表館 岡山市立上南公民館、岡山市立旭公民館、  
倉敷市倉敷公民館、玉野市立中央公民館、勝央町公民館

○演習 「みんな笑顔のおすすめ講座をつくろう！」

人とのつながりを大切に、地域の声・要望をカタチにして実現すること、ワクワク感やドキドキ感を地域の人と共有することの重要性を学びました。



## 第3回研修会

【県南会場】開催日 令和5年7月20日(木) 場所 岡山県生涯学習センター

【県北会場】開催日 令和5年7月21日(金) 場所 津山市久米公民館

【内 容】○講義 「社会教育における広報の戦略とデザイン」  
○演習 「“思わず手に取る”“思いの伝わる”チラシの作り方」  
講師 広島文化学園大学広報企画 課長 岡田 真次 氏  
(元広島市中央公民館 館長)

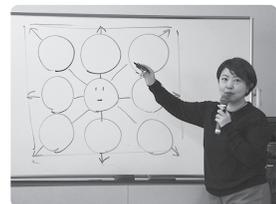
広報とは、住民とのよりよい関係(信頼関係)を築くこと等、伝えたいことを伝えるためのポイントをご教示いただき、演習では、実際にチラシの作成を行いました。



## 第4回研修会

開催日 令和5年12月14日(木) 場所 岡山県生涯学習センター

【内 容】○講義・演習 「公民館発!楽しい会議～話し合いを見える化・みんなで共有～」  
講師 徳島大学高等教育研究センター 特任講師 玉有 朋子 氏  
「可視化(見える化)」をキーワードに、場づくりやグラフィックレコーディングといったファシリテーションに関するスキルについて演習を交えながら話をさせていただきました。



## 第5回研修会

開催日 令和6年1月23日(火) 場所 岡山県生涯学習センター

【内 容】○トークセッション  
令和4年度 第6回「公民館職員が選ぶ!講座アワード」受賞館から学ぶ  
発表館 岡山市立北公民館、久米南町中央公民館、倉敷市船穂公民館

○情報交換会

○第7回「公民館職員が選ぶ!講座アワード」表彰式(詳細は、P4・5)

令和4年度 第6回「公民館職員が選ぶ!講座アワード」受賞館のトークセッションに続けて、令和5年度の自館の取組について情報交換を行いました。最後に、第7回「公民館職員が選ぶ!講座アワード」のグランプリ・準グランプリ・3位の発表と表彰を行いました。



# 第7回 公民館職員

本年度、第7回を迎えた「公民館職員が選ぶ！講座アワード」では、徐々に新型コロナウイルス感染症前のような公民館活動ができるようになり、県内の公民館から118の「おすすめ講座」が提出され、その中から42の実践がアワードにエントリーされました。本当にありがとうございました。

投票された公民館職員から「様々なアイデアが盛り込まれており、とても参考になります。これを参考に自館でプラスアルファの講座を企画していきたいです」「他館の実践報告書を読むと、自分のモチベーションが上がります」「講座を考えるためのヒントがいっぱいあります。多くの公民館の事例を知ることができるので、とても良い取り組みだと思います」といった多くの感想や応援メッセージをいただきました。中には「自館の取り組みは、たいしたことがないかな…」と思い、エントリーをためらっていましたが、次は挑戦してみたいです」「実践報告書の講座は、やってみたいものばかりでした。実行するには、教えてくれる方・指導してくれる方とつながるところからかなと思うので、これからもアンテナを張っていきます！」という声も届いています。

これからも「公民館職員が選ぶ！講座アワード」の取組が、各公民館にとって「情報交換の場」「アイデアの泉」となるように温めていきたいと思っています。

ぜひ、各公民館の頑張りや新たな挑戦、ちょっとした工夫などをおすすめ講座として提出してください。県内の公民館活動の充実に向けて、来年度の講座アワードも、多くの公民館からのエントリーをお待ちしています。



講座アワードにエントリーされた全館の実践報告は岡山県公民館連合会のHPからご覧いただけます。



## 「男の料理 はじめの一步～買い物から後片付けまで～」 岡山市立旭東公民館（15票）



### 【投票理由】

- 料理をするうえで大変なのは、何を作るか考えて、必要な材料をそろえて下準備をして…といった準備！そして、鍋や食器を洗ったり、ごみを捨てたり、テーブルを拭いたりといった片付け！そこまでがセットなので、参加者の声にもあったように学んだことがすぐに活かせる実践的な内容となっていました。自活が必要な高齢男性だけではなく、若い世代や子どもにも学んでほしい内容だと思いました。
- 私たちの地区も高齢化が進み、自立した生活を送ることが必然となっており、参考になりうる講座でありました。
- 公民館については、女性の利用が多いと思います。そうした中で、男性が行く講座を開催することは難しいと思います。日々、男性にも公民館を利用していただきたいと思いながら仕事をしていますが、なかなか思うようにはいっていません。今回のような講座を開催されたことに敬意を払いたいと思います。

令和5年度 岡山市立旭東公民館・芥子山学区栄養改善協議会 共催事業

### 男の料理 はじめの一步 ～買い物から後片付けまで～

#### ねらい

高齢化と女性の社会参画が進む中、家族の病気や死別、離婚など、男性がさまざまな家庭事情に対応し、自立した生活を送れるようになる。

#### 活動の様子



まず材料を購入するところから始まりました。



栄養委員さんのサポートのもと、コメの研ぎ方、食材の切り方など、調理技術の基本を学びました。



#### 効果

日頃夫婦でよく買い物には行くが、調理は初めてという参加者がいたので、材料の切り方、計量器具の使い方など基本を学ぶ内容は大変適していた。

参加者の声「1回目の講座の後、妻が緊急入院し、入院期間中は講座で習ったカレーライスを作り溜めて冷蔵庫に入れ、ほぼ一週間食べた。入院中の妻も安心してたようので本当に良かった。」

# が選ぶ!講座アワード



## 「雄神みんなで学校ごっこ」 岡山市立西大寺公民館 (14票)



### 【投票理由】

- 子ども会などの団体がなくなり、従来からあった活動ができなくなっている中で、新しい活動始める契機になっていて、今後とも期待が持てます。地域内の人材発掘にもつながり、どこの地域でも取り組むことができる活動だと思いました。
- 教授する教師と教授される子どもという関係性を基本とする学校教育と異なり、誰もが教授する側とされる側の両方の立場になれるという社会教育の形をまさに表現していると感じました。特に、子どもたち一人ひとりに役割をもたせることで、自己肯定感・自己有用感を高め、主体性を育てている点が、ねらいにもある地域づくりへのワンステップ(地域に参画する意識の醸成)につながると感じました。
- 担い手が減る中、地域ぐるみで教え合う公民館の理想的な取り組み、当館でも取り入れていきたいです。

## 岡山市立西大寺公民館

### だれもがセンセイ 雄神みんなで学校ごっこ

◆ねらい(解決したい地域課題)  
子どもの数が少ない(雄神小学校の児童数は約70名)地域で、子ども会もなくなり、地域の諸団体の担い手も見つかりにくい状況。そこで次の3点をねらいとしました。  
①地域の色々な人たちと子どもたちが顔見知りになり、繋がること。  
②子どもたちが生き生きと活躍できる地域(組織)づくりへのワンステップとすること。  
③今まで活動に参加していない人の地域デビュー(担い手への第一歩)。

#### ◆活動の様子

### 元幼稚園舎で、小学生や高校生も、大人たちと一緒にセンセイになって大活躍



手を教える小学生

3教室×3時間の時間割ができました。小学生がセンセイになって3教室、高校生も1教室でセンセイに。



英語の歌を教える高校生

階級	15分	30分	45分	60分
1階級	英語の歌を教える高校生	英語の歌を教える高校生	英語の歌を教える高校生	英語の歌を教える高校生
2階級	英語の歌を教える高校生	英語の歌を教える高校生	英語の歌を教える高校生	英語の歌を教える高校生
3階級	英語の歌を教える高校生	英語の歌を教える高校生	英語の歌を教える高校生	英語の歌を教える高校生



締切時参加者0人の教室も、皆さんの動きかけで満員に



田舎者として、グループホームのお年寄りで作っていたたいお雛様を配りました。

子どもたちのイキイキとした姿がたささん。「初めて教えて、うまくいかないこともあったけど、楽しくできてよかったです。またやりたい」とはセンセイを務めた小学生の声。  
セイトからの「楽しかった。うれしかった。またやりたい」との声が、たくさんアンケートに書かれていました。

#### ◆効果

「センセイになった子どもたちは、すごく自信をつけました」とは雄神小学校の校長先生の話です。参加した人同士のつながりでもできました。実行委員会では、実行委員長自ら毎年実施しよう、他の学区にも広げていこうと話し、令和5年度はコミュニティ祭りの企画開催を決め、準備を進めています。また、矢掛のYK60の活動を見学して、新たな子どもたちが地域で活動するための組織と支援ネットワークづくりを考えます。学校と共催して取り組んでいるタウンミーティングと合わせて、子どもたちとその意見を核にした地域の未来ビジョンづくりにも発展させたいと考えています。



## 「親子で学ぶリアル資産形成 ～使う・貯める・増やす・借りる～」 倉敷市玉島公民館 (13票)



### 【投票理由】

- 「お金」に対するイメージが良いか悪いかは、お金の知識があるかないかに繋がる気がします。子どもの頃から親と「お金」の知識を共有し、日常的にお金について考えることは、これからの将来を担う子どもたちにとって、とても大きな財産になると思います。
- 電子マネーの利用増加に伴い、現金を取り扱う機会が減り、お金の流れを実感しにくい中、消費や金融について具体的に学んだり、将来のシミュレーションをしたりすることは非常に大事だと感じました。また、公民館だからこそのできる地元企業との連携が素晴らしいです。
- 学校教育で欠けている部分を補うのも、公民館の役割だと思っています。その中でお金の話は、人生で必要不可欠に大切なことであるにもかかわらず、学校教育では体系的に教えてくれません。とても重要でよい講座だと思いました。

玉島公民館 主催【くらしき市民講座】倉敷市消費生活センター連携

## 親子で学ぶリアル資産形成 ～使う・貯める・増やす・借りる～

9/16(土)9:30～11:30全1回>小学5-6年生と保護者対象  
講師:玉島信用金庫本店職員

消費者被害や詐欺犯罪などの金融トラブルが後を絶たないにもかかわらず、消費や金融について具体的に学ぶ機会が少ない。この講座では、市の消費生活センターと連携して、「お金のプロ」である玉島信用金庫の職員を講師に招き、親子を対象に、消費や金融といったお金の付き合い方を具体的に学ぶ。子どもの頃から消費や金融について具体的に学ぶことで、正しい理解と判断力を身に付け、金融トラブルの回避や、正しい消費者になるための意識づくりをする。また、「お金」について能動的に教え、自身の将来像を考えさせたい。親子で学ぶことで「お金」について話しやすい家庭環境をつくる。

### 1 講話 お金を活用するってどういうこと? 「使う」だけじゃない、お金の付き合い方。

前半は、お金の活用について、用語やしくみを分かりやすく説明してもらいました。

- 【使う】生活費や税金、キャッシュレス決済
- 【貯める】貯金
- 【増やす】投資信託、NISA制度
- 【借りる】収支のバランス



### 2 生活設計・マネープランゲーム ゲームを通して、お金の使い方をシミュレーション。



後半は、3つのチームに分かれ、前半で学んだことを踏まえて「生活設計・マネープランゲーム」を行いました。与えられた条件の中で、どこにお金をかけ、どういった生活をしていくのか、チームごとに話し合いながら生活設計・マネープランを考えて「収入→支出→貯蓄→購入」をシミュレーションしました。

保護者からは、「お金について、子どもと話すよい機会になった」「家族でも話し合いたい、生活を見直したい」との感想が上がった。「子どもには少し難しかったのではないかな」という感想もあったが、子どもからは「生きるにはお金がかかるということが分かった」「お財布との相違が大事」「難しい言葉もあったけど、頑張って覚えておきたい」「説明は難しかったが、ゲームを通して人生のマネープランが分かった」といった感想が上がった。子どもたちが関心を持って取り組み、ゲームを通して理解を深めることができた様子であった。

講師を依頼した地元銀行では、地域貢献活動として地域住民を対象とした金融に関する講座を開催していたが、大人も子どもも学べる具体的な内容の講座は無かった。今回の講座を新たな企画として持ち帰ってもらい、地域に広めてもらうことを期待している。玉島公民館では、今後も地域と連携した講座を継続して企画し、地域全体の学びを支援し、地域の活性化を推進していきたい。

# 市町村出前講座事業

## 公民館職員のための「事業計画ハンドブック」

公民館職員に必要なスキルの習得ができる研修を各市町村で効果的に進められるよう、令和3年度、県内公民館の職員の方々4名を作成委員として委嘱し、特定非営利活動法人 岡山NPOセンター代表理事 石原達也氏の御指導・御助言をいただき、地域資源のを見つけ方や、目的・目標の設定の仕方、評価の方法など、効果的な事業・講座を作る上で欠かせない内容を詳しく学ぶことができる「公民館職員のための事業計画ハンドブック」を作成し、全館に配付しました。

令和3年度から、このハンドブックを活用し、市町村からの要請に応じて連絡会や公民館研修会等に岡山県公民館連合会が出向いて、実態に応じた研修等を行う支援をしています。



## 市町村出前講座の主な内容（市町村の要望に応じて研修内容を作成）

【説明】 公民館とは「目的と仕事」及び「今後の公民館に求められていること」(ハンドブック8ページ)

【演習1】 PART1「地域のことを知って、課題・取り上げたい資源をしばりこもう」(ハンドブック4～7ページ)

【演習2】 PART3～7「目的・目標を考えよう」「事業の内容を考えよう」「人を巻き込もう」「評価の仕方を考えよう」「事業計画書を作成しよう」(ハンドブック10～17ページ)

【演習3】 「たしかめよう!わたしの公民館」  
ワークシートを通して、自館の公民館活動について整理する。



## 市町村出前講座の参加者の声

「事業計画書を作成する準備についてよく分かりました。ハンドブックを活用して事業を計画して、事業実施まで行おうと思います。」「現在やっている事業も視点を変えると立派な公民館活動であるということに気がつきました。地域の現状や課題を見直し、講座をブラッシュアップしていきたいです。」

「講座を企画するにあたり、悩んでいることなどの解決策がありました。今後も参考にしたいです。」

市町村出前講座は、令和3年度から令和5年度までの3年間、実施しました。「公民館職員のための事業計画ハンドブック」を使って作成された講座が実践されたり、市町村が主体となって研修を実施したりされています。今年度で、市町村出前講座は終了となりますが、引き続き、このハンドブックが学びの場を創るみなさんの一助になれば幸いです。



# 第35回全国公民館セミナー

令和6年1月31日(水)～2月2日(金)の3日間、丸の内マイプラザホールにて開催された「第35回全国公民館セミナー」に参加されたお二方の感想を紹介します。

## ◆岡山市立北公民館 主任 戸川 直子

「シン・公民館—公民館のミライ図—」をテーマに講義やワークショップを通し、全国の公民館関係職員の方々とは学び合いました。地域もキャリアも違う仲間が集まって公民館のミライについて語り合い、学び合うというのはとても貴重な体験でした。新しい公民館をデザインするため、既成概念にとらわれず、自由にアイデアを出し合う作業はおもしろく、参考になるものも多かったです。今回の学びをこれからの公民館にいかしていきたいです。」

## ◆久米南町教育委員会 主幹 小藤 寿美

「楽しいことが大好き!もっと自由な考えで、多様なことを許容できる環境を!」講師の一人、田中元子氏の言葉です。強く刺激的な内容で一瞬にして引き込まれました。かつ独創的で情熱的。面白いことをやってみよう!それは、多彩なプログラムを提供し、あらゆる年齢の人々が集い、学び、交流する公民館の根本にあるもののような気がしました。公民館は地域コミュニティの結びつきを強くすることができる。職員であるわたしたちは、もっと開放的で自由な発想を持ち、あらゆる世代の豊かな生活に貢献していきたいと改めて感じました。」

## 「第46回全国公民館研究集会香川県大会 兼 第46回中国・四国地区公民館研究集会香川大会」のお知らせ

【大会テーマ】 「今こそ公民館」～より良い地域の実現を目指して  
【日 時】 令和6年10月17日(木)、18日(金)  
【場 所】 レクザムホール(全体会)、高松市内の会場(分科会)

# 公民館 ひと・ひと・グループ

## 「みんなで学ぼう！ 交通安全コンサート」

和気町中央公民館

備前ブロック



岡山県警察音楽隊の演奏に子どもも大人もノリノリ♪

子どもと大人が一緒になって、交通安全について楽しく学ぶ機会を作りたい。地域の方からのそんな声を参考に、交通安全コンサートを企画しました。

前半は、地元備前警察署員による交通安全講座。後半は、岡山県警察音楽隊によるコンサートが行われました。町内の交番に勤務経験がある隊員が所属していることもあり、地域の熱烈なリクエストに答えてくれました。普段は子どもだけ、あるいは大人だけで受ける交通安全講習も、コンサートを交えながら楽しく世代間交流も生まれる笑顔の講座となりました。

## 「楽しさ実感 菊づくり講座」

井原市稲倉公民館

備中ブロック

11月に公民館を大輪菊やドーム菊で飾ろうという声かけで始まった菊づくり講座です。講師を迎えての体験学習は4月と7月の2回、5月には、菊栽培企業への視察研修を行い、学んだことを自宅等で実践しました。

さし芽、5・9号鉢への移植、支柱へ枝を登らせ、10月中旬には輪台付けをしました。そして各自が育てた菊花を公民館へ持参しての菊花展では、満足感・課題と共に来年度の栽培意欲を高め合いました。

菊栽培期間中は、受講生30人だけでなく来館する地域住民を交えて菊栽培の話は弾み、地区住民のつながりを深め、楽しさを実感する菊づくり講座となりました。



第2回講座 9号鉢へ移植・支柱へのそわし方の体験学習をしました。

## 「大人のEスポーツ体験教室」

津山市津山東公民館

美作ブロック



「やったー!」「ストライクー!!」と参加者みんなで大盛り上がり。

昨年度、Wi-Fiの整備を行った津山東公民館で、Eスポーツ・ボーリングゲームを開催しました。参加者全員が、スポーツとしてのボーリングは何度も経験していますが、Eスポーツ・ボーリングゲームはイメージとして理解はできても、実際にゲームとして行うことは初めての体験でした。「ゲームスタート」のかけ声に、最初はボールを投げてピンを倒そうとしますが、レーンの途中で止まってしまうゲームが中断することもありました。しかし、次第にコツを掴みストライクが出る度に盛り上がり、予定していた時間を大きくオーバーし、参加者の皆さんは大満足していました。



# まちからむらからフォトレター

備前  
ブロック

備前市立中央公民館



## 「毎日お疲れの方のための講座」

毎日仕事や育児でお疲れの人、疲れを癒したい方、普段公民館を利用する機会の少ない方を対象にした講座です。全4回のうちの第2回ではフラワーアレンジメントを作成し、心が癒されたことで疲れがとれたと好評でした。また、この講座は心のリラゼーションになることから、今後も継続的に活動する、自主活動グループ(涙活サークル)へと発展しました。

備前  
ブロック

岡山市立高島公民館



## 「たかしま防災クエスト大作戦」

防災に関心をもつ地域住民で結成する防災教育グループと公民館が、小学生に防災を楽しみながら学んでもらうことを目的に企画、実施しました。参加者も、事業に協力した中高生ボランティアや大学等の諸団体を含む企画者側も、防災への理解が深まるとともに、地域住民の活躍と交流の機会になりました。

備中  
ブロック

高梁市高梁中央公民館



## 「教育講演会」

高梁中央公民館では、年一回高梁市に関わる方を講師に「教育講演会」を開催しています。今年度は、11月18日に「フランスに行こう!」と題し、国際交流・多文化共生について考える講演会を実施しました。外国籍の人が多く本市において、他国を知る良い機会となりました。

備中  
ブロック

里庄町中央公民館



## 「里庄虚空蔵大学」

生涯学習の場として65歳以上の方が活動しています。手芸・新大正琴・陶芸など14の専門学部と、健康・研修旅行・音楽など年6回の総合講座があります。公民館は皆様が元気で生きがいを持って輝けるようお手伝いします。写真は、総合講座の様子です。

美作  
ブロック

真庭市久世公民館



## 「子ども体験学習講座「子ども料理教室」

小学4年生～6年生の児童を対象に、料理教室を開催。料理の基礎基本を学ぶと同時に、あいさつや協力の必要性も学びました。包丁を扱うのもぎこちなかった子ども達も徐々に上達し、美味しい料理を作れるようになりました。

美作  
ブロック

美作市作東公民館



## 「子どもたちみんなで人文字をつくろう」プロジェクト

公民館の建て替え完成を記念し、隣接する作東中学校グラウンドに作東地域の子も達300人が集まり、人文字をつくり、ドローンで空撮しました。旧公民館に掲示されていた写真と同じ方向から写し、新公民館の玄関正面の壁に、新旧の写真飾りました。子ども達は興味深く写真を見ていて、公民館に関心を持ってもらえたようです。